

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/04/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.07	0.12
JPY/THB	0.2386	0.0000
USD/JPY	155.35	0.52
EUR/THB	39.66	0.13
EUR/USD	1.0699	-0.0002
USD/CNH	7.273	0.013
SGD/THB	27.21	0.08
AUD/THB	24.08	0.12
USD/INR	83.32	-0.02
USD Index	105.86	0.18

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.516	0.013
10Y (THB)	2.725	0.015
5Y (USD)	4.656	0.027
10Y (USD)	4.642	0.041

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,324.5	-3.2
WTI (Oil)	82.81	-0.55
Copper	9,773.5	67.0

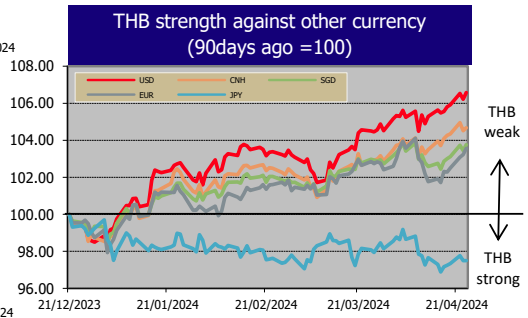
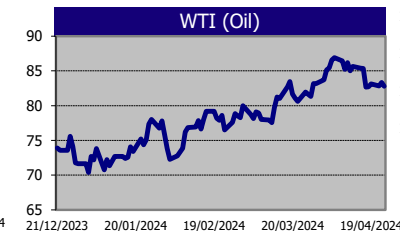
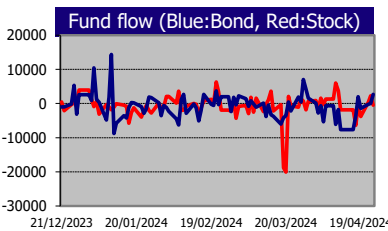
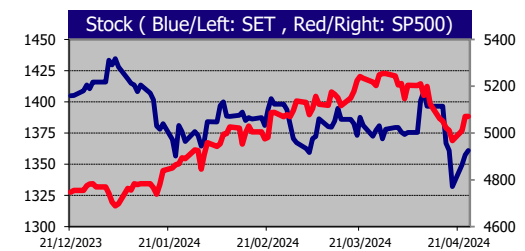
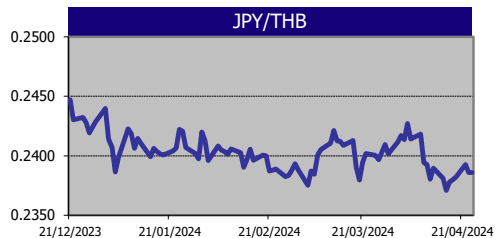
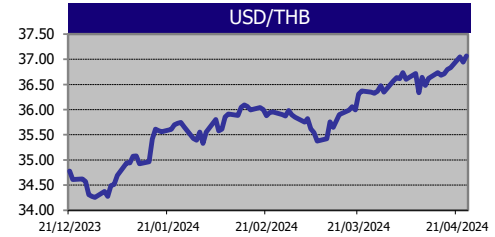
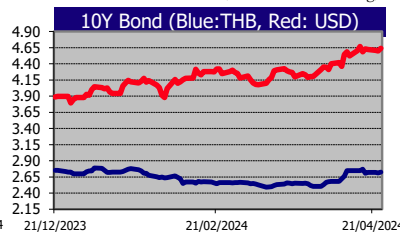
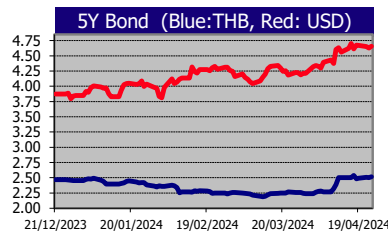
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,361.10	3.64
NIKKEI (JP)	38,460.08	907.92
DOW (US)	38,460.92	-42.77
S&P500 (US)	5,071.63	1.08
SHCOMP (CN)	3,044.82	22.84
DAX(GER)	18,088.70	-48.95

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(456)	-2688.2
Bond net flow	2,635	2623.6

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇。36パーツ台後半で取引を開始。朝方公表されたタイ中銀(BOT)による金融政策委員会(MPC)議事要旨(4月10日開催分)には特段大きな反応は見せなかったものの、午後に入り、BOTとタイ政府間でデジタルウォレット政策をはじめとした景気刺激策に係る見解の隔たりが報じられると、パーツ売り優勢の地合いとなった。37パーツ台前半まで上昇し海外時間に入ると、市場予想対比強い結果となった米3月耐久財受注を眺めながら同水準で推移。そのまま37.07レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。154円台後半で取引を開始すると、米金利の上昇を眺めながらドル円も底堅く推移。海外時間に入ってもドル買い優勢の地合いが継続し、約34年ぶりとなる155円台に乗せる展開に。同水準では売りも相応に見られ、154円台前半から155円ちょうど付近にかけて上下する場面が見られたものの、堅調な結果となった米3月耐久財受注や、米金利の上昇等にサポートされ、終盤にかけては155円台前半で推移。結局155.35レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日はインドネシア中銀が予想外の利上げを実施した。声明文ではルピア相場の安定を重視する考えが改めて示されており、端的にいうと足元のルピア安を懸念した対策のようだ。こうした動きを見ると個人的にはドルが強い地合いの中でアジア諸国が利下げを行うことの難さが改めて浮き彫りになった気がしてならない。いまいちど米利下げ観測の後退がタイを含むアジア諸国の利下げタイミングをも遅らせる可能性に留意しておきたい。目下の注目は本日から明日まで開催される日銀金融政策決定会合だ。追加利上げを予想する声はほぼなく、今回の注目点は、最近タカ派な発言が目立つ植田総裁の発言のトーン、国債買入の縮小タイミングに関する示唆の有無、展望レポートでの物価見通しといったところだろう。特に植田総裁のトーンについては、円安を牽制するためのタカ派発言が最近の株価下落を誘発していた節もあったため、タカハトどちらにしても円安か株安を伴う可能性に留意。今週末週と日米で中銀イベントが続く中で時機を計りかねている本邦の為替介入にも依然注意は必要で、すでにドル円は市場が警戒する155円の壁を突破していることもあり、もはやいっ発動されてもおかしくない状況だろう。22年9月は日銀会合後の円安加速を受けて実施されている。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.